家庭教師のもりた　授業方針　～中学生～

大きく分けて３パターンに分けて説明します。

①公立高校受験志望の場合

公立高校受験では、主要５教科の筆記試験があります。これらは学校の授業で習う内容が基礎となります。また、内申点も入試に大きくかかわります。よって１，２年生のうちは定期テスト対策を中心とした授業をし、３年生の夏ごろから、公立高校受験対策をしてまいります。

１・２年生、３年生初期	３年生７月	１０月	１１月	
				過去問を中心に 当日まで仕上げる
教科書準拠教材等で 定期テスト対策	定期テスト対策に加え 受験用教材も取り入れ １・２年の復習も	公立高校過去問 導入	出願完了次第 私立高校過去問 導入	

　学校でのワーク提出も内申点に影響しますので、学校のワークの進捗のチェックも行います。

②私立高校推薦志望の場合

私立高校推薦入試受験では、ほとんどが面接のみ、もしくは面接と作文のみ、といった具合に筆記試験は課されません。ですので、授業の方針としては、高校入学後のために中学内容を入念に固めることがメインになります。もちろん、高校によっては推薦入試の出願条件に評定が関係する場合もありますので、定期テスト対策はしっかりと行っていきます。



教科書準拠教材等で定期テスト対策をしてまいります。①同様学校のワークの進捗のチェックも行います。状況見て、高校内容の予習を行うこともあります。

なお、当方では「面接練習」「志望理由書の確認」など推薦入試に関する指導は、**毎週の授業の中では一切行いません。**学校でもそういった指導を行いますのでそちらをご活用お願いいたします。ただし、学校の指導だけでは不安な場合などはご相談ください。授業時間と別に、無償で行います。

③内部進学志望の場合

②同様、高校入学後のために中学内容を入念に固めることがメインになります。ただし、学校によっては３年生半ばごろでもう高校内容に入ることもあります。また、学校からの教材が充実しており当方で教材の手配は必要ないと判断する場合もあります。状況見て対処いたします。